

## The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第5号

令和6年9月2日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

夏休みの生活はどうでしたか。計画通りには進まなかったと思いますが、充実させることはできましたか。「時は金なり」という言葉があります。「時間はお金と同様に貴重なものだから、決して無駄にしてはいけない」という意味です。振り返ってみてください。時を本当に自分のためにしっかり使っているでしょうか。若いうちはなかなか感じないと思いますが、時はありそうでそんなにはありません。高校3年生（18歳）になれば成人です。社会の中で生きていく当事者です。社会の発展のために貢献し、責任が取れる人に育っていなければなりません。人任せにせず、自分の力で生きていくのです。

今回は聞いたことがあると思いますが、「**一隅を照らす**」という言葉を紹介します。もとは次のように書かれています。「**径寸十枚これ国宝に非ず、一隅を照らすこれ則ち国宝なり。**」（径寸：金銀財宝。一隅：かたすみ。ここでは、「今あなたのいるその場所」という意味。）

以下のような意味と願いが込められています。

お金や財宝は国の宝ではなく、家庭や職場など、自分自身が置かれたその場所で、精一杯努力し、明るく光り輝くことのできる人こそ、何物にも代えがたい貴い国の宝である。

一人ひとりがそれぞれの持ち場で全力を尽くすことによって、社会全体が明るく照らされていく。自分のためばかりではなく、人の幸せ、人類みんなの幸せを求めていこう。

「人の心の痛みがわかる人」「人の喜びが素直に喜べる人」「人に対して優しさや思いやりがもてる心豊かな人」こそ国の宝である。一隅を照らしてください。

ここで一つ、考えて欲しいのは、一隅を照らすために、自分自身、どうすればよいのでしょうか。具体的に考えてください。具体的な行動に移さないと一隅を照らせません。

勉学に、行事に、部活動に全力を尽くしましょう。それが結果として学校全体が明るくなり、みんなの幸せに繋がっていくのです。全力を出し切った顔は清々しいものです。

「鉄は熱いうちに打て」です。とにかく一つ上を目指して行動してみましょう。

一人ひとりが一隅を照らしている学校、素晴らしいと思いませんか。

つばさ生は、一隅を照らすために頑張っています。銀翼祭、授業公開、学校説明会など、生徒の姿を見に来てください。お待ちしております。